



◆風しんとは？

風しんとは、風しんウイルスによって起こる感染症です。約2〜3週間の潜伏期間を経て、発熱、首のリンパ節がはれ、体に赤い発疹が出ます。咳やくしゃみなどの飛沫から感染し、感染力が強いいため、発熱がない場合や症状が出ない時にも他の人にうつす可能性があります。子どもに比べると大人は軽症で済むことが多いですが、中には重症になる人もいます。

◆先天性風しん症候群

女性が妊娠初期にかかるとお腹の中の赤ちゃんが生まれつきの難聴、白内障、心臓病、精神運動発達遅滞などを持って生まれてくる場合があります。このような病気のことを「先天性風しん症候群

(CRS)」といいます。

◆風しんを予防するためには？

弱毒生ワクチンが実用化され、2006年度からMR（麻疹風しん混合）ワクチンが定期接種となりました。1歳の時に1回、小学校に入る前の1年間（年長児）で1回の合計2回が定期接種となっており高い接種率になっています。

それ以前に生まれた方は、年代や性別によって接種歴が異なります。2回接種していない方や、記録や記憶が不確かな方は、風しんに対する抗体が十分にあるか確認するため抗体検査を受け、抗体価が不十分な場合は予防接種を受けましょう。特に、妊娠を希望する女性とその家族は注意が必要です。妊娠中には接種できないので、早めに確認しましょう。

対象により、抗体検査や予防接種の助成がありますので、ぜひご利用ください。妊婦さんやお子さんたちを守るため、ご協力をお願いいたします。

〈健康福祉課保健グループ〉

＜北海道風しん抗体検査事業＞

対象：・妊娠を希望する出産経験のない女性

・妊娠を希望する出産経験がなく、かつ風しん抗体ができない女性の配偶者・同居者

・風しんの抗体価が低い妊婦の配偶者・同居者

助成額：抗体検査 EIA法 6,740円

HI法 5,350円

方法：平成31年度北海道風しん抗体検査事業補助金交付申請書と領収書、及び住所を証明する書類の写し（運転免許証写しなど）を名寄保健所に提出してください。

提出期限：令和2年3月16日（必着）翌年度以降も事業が実施される場合があります。

※予防接種の費用助成はありません。

＜風しんの追加的対策事業＞

対象：昭和37年4月2日～昭和54年4月1日までの間に生まれた男性

助成額：抗体検査、予防接種（必要と判断された方のみ）ともに全額

方法：対象者に個別に郵送されているクーポン券を使用することで、抗体検査、予防接種を全国の受託医療機関で受けることができます。クーポン券は令和元年度から3年間で段階的に送られます（今年度は昭和47年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性にクーポンを郵送済です）。届いていない方で今年度受診希望の方は、健康福祉課保健グループ（☎34-3955）までお問い合わせください。